






第9章 地域生活・社会生活・市民生活

		0:困難なし	1:軽度の困難	2:中等度の困難	3:重度の困難	4:完全な困難	8:詳細不明	9:非該当	
		程度のパーセント表現	0-4%	5-24%	25-49%	50-95%	96-100%		
		おおまかな統一イメージ	普遍的自立もしくは活発な参加	限定的自立もしくは部分的参加	部分的自立もしくは部分的制約	全面的制限もしくは全面的制約	行っていないもしくは参加していない	判定できない場合	判定の対象外
d910	地域生活 コミュニティにおける社会生活のあらゆる面に関与すること。例えば、基善団体、社会奉仕クラブ、専門職の社会的団体に関与すること。 	前	0	1	2	3	4	8	9
		中	0	1	2	3	4	8	9
		後	0	1	2	3	4	8	9
		地域生活上手くいらっています							
d920	レクリエーションとレジャー あらゆる形態の遊び、レクリエーション、レジャー活動へ関与すること。例えば、スポーツ、娯楽や気晴らし、美術館・映画へ行くこと、工芸や趣味に携わること、読書、旅行。 	前	0	1	2	3	4	8	9
		中	0	1	2	3	4	8	9
		後	0	1	2	3	4	8	9
		レクリエーションやレジャーを十分行い生活に満足しています							
d930	宗教とスピリチュアリティ 自己実現のため、宗教的またはスピリチュアルな活動、組織化、儀礼に関与すること。例えば、教会、寺院への出席、祈り、宗教的目的のための詠唱、精神的瞑想。 	前	0	1	2	3	4	8	9
		中	0	1	2	3	4	8	9
		後	0	1	2	3	4	8	9
		宗教活動を通して、生活が満たされています							
d940	人権 国家的かつ国際的に認められ、人間であれば誰もが与えられる権利の享受。例えば、自己決定や自律の権利、自分の運命を管理する権利の享受。 	前	0	1	2	3	4	8	9
		中	0	1	2	3	4	8	9
		後	0	1	2	3	4	8	9
		人権が十分に守られています							
d950	政治活動と市民権 市民として、社会的、政治的、統制的活動に関与すること。例えば、選挙権や被選挙権、政治団体の結成の権利、市民権に伴う権利や自由を享受すること、市民としての法的立場を有すること。 	前	0	1	2	3	4	8	9
		中	0	1	2	3	4	8	9
		後	0	1	2	3	4	8	9
		選挙に行き、市民としての権利を十分に行使しています							

<ADL:Functional Independence Measure(FIM)>

セルフケア									
A. 食事	<table border="1"> <tr> <td>前</td> <td>中</td> <td>後</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	前	中	後				7	配膳, 下膳すれば時間内で自力摂取可能. スプーンでも可
		前	中	後					
		6	自助具使用で自力摂取可能. 刻み食など特別食を摂取						
		5	準備(肉を刻む, みかんの皮をむく等)すれば自力で可能						
		4	軽度介助. 器に残ったものを集めることや自助具の装着						
		3	中等度介助. 食物をすくうことは介助だが, 後は可能						
		2	重度介助. 食物を口まで運ぶ必要がある						
		1	全介助. 経管栄養						
		B. 整容	<table border="1"> <tr> <td>前</td> <td>中</td> <td>後</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	前	中	後			
前	中			後					
6	自助具があれば, 準備や使用は可能								
5	準備(歯磨き粉をつける等)が必要だが, それ以外は可能								
4	石鹸をつけてもらうなど動作の中の部分的な介助で可能								
3	奥歯を磨くなど動作の半分程度の介助が必要								
2	歯磨きは部分的にのみ可能で半分以上は介助								
1	全介助								
C. 清拭	<table border="1"> <tr> <td>前</td> <td>中</td> <td>後</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			前	中	後			
		前	中	後					
		6	自助具を使用しているが, 準備は一人で可能. 監視も不要						
		5	タオルを用意してもらうなど準備があれば後は自分で可能						
		4	軽度介助. タオルを絞る, 体を支えるなどの軽介助						
		3	中等度介助. 洗えるが乾かすことが出来ない						
		2	身体全体について, 洗う, 乾かすなどの半分以上を介助						
		1	特浴, ベッド上でも拭いてもらうなど全面的に介助						
		D. 更衣(上半身)	<table border="1"> <tr> <td>前</td> <td>中</td> <td>後</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	前	中	後			
前	中			後					
6	ベルクロ付の衣服や自助具があれば可能								
5	衣服を用意してもらうなど準備があれば可能								
4	軽度介助. ボタンをかける, 衣服の乱れを直す必要がある								
3	中等度介助. 片袖を通してもらうなどすれば後は可能								
2	重度介助. 片袖だけなら通すことは可能								
1	更衣は行わない								
E. 更衣(下半身)	<table border="1"> <tr> <td>前</td> <td>中</td> <td>後</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			前	中	後			
		前	中	後					
		6	衣服を改良しているが, 自力で着脱が可能. 時間はかかる						
		5	衣服を用意してもらうなど準備があれば可能						
		4	軽度介助. 紐を結ぶ, 衣服の乱れを直す必要がある						
		3	ズボンの着脱は可能だが, 靴下や靴は介助						
		2	ズボンは膝まで介助があれば, 後は可能						
		1	全介助. 身体を動かしたり, 腰を浮かす程度						

F. トイレ動作	7	ズボンの上げ下げや拭くことが自力で可能
	6	手すりにつかまれば、ズボンの着脱や拭くことが可能
	5	拭く紙の準備があれば、自分で拭くことが可能
	4	拭いたり、ズボンの着脱の際に支えてもらう必要がある
	3	拭く、ズボンを上げる、下げるのうち、一つが全介助
	2	拭く、ズボンを上げる、下げるのうち、二つが全介助
	1	全介助
排泄コントロール		
G. 排尿コントロール	7	投薬なしに自尿で、失禁もない
	6	吸収パッド、留置カテーテルの管理すべてを自分で実施
	5	尿器やポータブルの準備のみしてもらえば、自分で可能
	4	尿意を伝え、尿器を支えてもらえば、排尿可能
	3	一日1回未満の失敗、排尿と同数の導尿をしている
	2	おむつに排尿し、交換を頼める。昼は自立、夜は失禁
	1	介助者による留置カテーテル、おむつなど全介助
移乗		
H. 排便コントロール	7	投薬なしに排便可能、失禁もない
	6	便軟化剤や座薬を用いて、自立
	5	座薬の準備や介助があれば自立
	4	座薬を挿入してもらい、自力で排便
	3	失便が10日に1回程度ある
	2	失便が5日に1回程度ある
	1	ほぼ毎日失便
移乗		
I. ベッド、椅子、車椅子	7	自分で起きて立ち上がり、移動して座ることが可能
	6	手すりにつかまったり、車椅子を用いて移乗が可能
	5	車椅子のロックや椅子の位置決めに関介助や監視が必要
	4	ふらつかないために手を触れるなどの介助が必要
	3	手を添え、ある程度引き上げてもらうと可能
	2	身体を持ち上げながら、回してもらう必要がある
	1	全介助
移乗		
J. トイレ	7	トイレのふたの開け閉めはできないが、自立
	6	手すりにつかまって、自立。ポータブルで自立
	5	手すりをを用い、監視があれば自立
	4	介助者が触れれば立ち上がり、服を下ろしてもらうと可能
	3	車椅子への移乗で、多少引き上げてもらうと可能
	2	介助者に引き上げてもらい、回してもらう必要がある
	1	行っていない

K. 浴槽, シャワー	7	浴槽に移乗可能
	6	浴槽周囲の手すりと滑り止めマットを用いて自立
	5	浴槽の腰掛に自分で移乗できるが, 監視が必要
	4	浴槽へ移動できるが, 片足を入れるのに介助が必要
	3	両足の出し入れが介助
	2	立ち上がる際や腰を下ろす際に介助が必要
	1	行っていない
移動		
L. 歩行, 車椅子	7	50mを安全に, 妥当な時間内で歩行する. 転倒の危険ない
	6	装具, 杖, 歩行器など使用して 50m歩行可能. 車椅子は方向転換が可能
	5	50mの移動に監視や促しが必要. 15mであれば移動可能
	4	介助によって 50m移動可能. 車椅子でも介助が必要
	3	介助者に足を運んでもらうなどの介助で 50m移動可能
	2	どんなに介助しても 15mしか歩行できない. 車椅子では曲がれない
	1	全介助. 車椅子操作ができない
M. 階段	7	通常しないが, 必要なら手すりなしでも 14 段昇降可能
	6	手すりや装具があれば昇降可能
	5	14 段の昇降は可能だが, 監視が必要. 4 段であれば可能
	4	介助があれば, 手すりのある 14 段の昇降は可能
	3	介助者が支え腰紐を持ち上げるなどがあれば 14 段可能
	2	介助があれば 4 段可能. 4 段の昇降に介助か監視が必要
	1	実生活では行わない
コミュニケーション		
N. 理解	7	友人との会話や手段会話が可能
	6	難聴があり, 片側から話すように訴えることができ, そうすれば理解も可能
	5	補聴器を使おうとしない難聴患者で, 大きな声で話さないといけない
	4	手段会話を理解できない, ごく最低限の会話は成立
	3	おなががすいているか, のどが渴いているかを 50%で理解
	2	失語症患者でジェスチャーを見れば理解可能, 難聴患者で 25%しか理解できない
	1	難聴や失語症のために理解できない

O. 表出	7	共通の話題について友人と会話可能
	6	多少の構音障害があるが、表出の際にストレスはない
	5	基本的な欲求については短いフレーズで表出可能
	4	基本的な欲求を短い句で話す。たまに間違える
	3	のどの渇き、空腹などを表出するが、半分程度しか理解できない
	2	一語のみの表出であるが、介助者はそれがわかる
	1	表出がない
社会的認知		
P. 社会的交流	7	治療中に協力的。「はい、いいえ」のやりとりで礼儀正しさが確認できる
	6	行動コントロールのため投薬を受けている
	5	訓練に参加するが、集団で何かやるには激励が必要
	4	交流はするが自分からははじめない。すぐ気が散る
	3	汚い言葉を使う。交流しようとはせず、黙っている
	2	しばしば非協力的で、訓練を拒む
	1	毎晩、同室患者が眠れなくなる
Q. 問題解決	7	自分の金銭管理を行っている
	6	服薬管理がだいたいできる
	5	何か問題を起したときに、助けを求めたり、解決できる
	4	問題解決のために、しばしば助けを求めることができない
	3	ナースコールを押して基本的問題を50%以上解決できる
	2	電話のかけ方がわからない。無理なのに介助なしで起き上がろうとする
	1	問題解決に全面的に介助が必要
R. 記憶	7	手帳を使っているが、それを見なくても思い出せる
	6	手帳を用いて自立
	5	多段階の命令に従うには介助者が必要
	4	予定表を見るのをたまに忘れて、25%の機会で見られると言われる
	3	担当療法士の名前は言えないが、認識はできる
	2	よく会う人を覚えているが、指示を繰り返す必要がある
	1	記憶に全面的に介助が必要である

<健康関連QOL:Health Utilities Index(HUI)>

HUI23PCE.15Q

自己記入代理人評価方式15項目質問票“現在”の健康状態評価

記入方法

この質問票の中に出てくる“この方”とはあなたが代理で答えて下さろうとしている調査対象者のことを意味します、例えば御両親や娘さん、息子さんあるいはご主人、奥さん、お友達また患者さんであるかも知れません。この質問票は様々な方を対象とした調査に使用できるように書かれているのであなたが健康のさまざまな面に関してお尋ねする対象者、ご親戚やお友達、御両親に対して“この方”と大きな意味でまとめてお尋ねする失礼をお許してください。

この質問票はこの方（調査対象者）の健康に関する様々な側面をお尋ねする質問が含まれています。これらの質問にお答えになる際には、この方の現在の健康状態と、日常生活に基づいてこの方がものごとをこなす能力についてお考え下さい。

この質問集のうちいくつかの質問は、この方に当てはまらないと感じられるかも知れません。しかしすべての皆さんに対して同じ質問をすることが大切である点をご理解下さい。また、いくつかの質問は同じようなことをお尋ねするようで申し訳ありませんが、明らかに重複してもそれぞれについて回答して下さい。

それぞれの質問を読んで、回答を慎重に考えて下さい。各質問に対してあらかじめ設けられた答えのうち、この方の現在の生活上、できる事やできない事を一番よく言い表していると思われるものをひとつ選択して下さい。選択した答えの先頭の英文字（a, b, c, d, e, f）を別紙の評価用紙に転記して下さい。

あなたに御協力いただいたすべての情報は秘密扱いとさせていただきます。回答には正しい答えとか、間違った答えというものはありません。私共の調査で知りたいのは、日常生活能力や感じ方に関するこの方ご自身のご意見なのです。

-
1. 現在、この方が新聞の文字を判別する能力は、以下に述べるもののうちどれが一番当てはまりますか？
ひとつ選んで下さい。

- a. 眼鏡やコンタクトレンズなしでも充分に見える。
b. 眼鏡やコンタクトレンズがあれば充分に見える。
c. 眼鏡やコンタクトレンズがあっても充分に見ることができない。
d. まったく見えない。

前	中	後

2. 現在、この方が、通りの反対側にいる人を見て友達を見分ける能力は、以下に述べるもののうちどれが一番当てはまりますか？ ひとつ選んで下さい。

前	中	後

- a. 眼鏡やコンタクトレンズなしでも充分に見分けられる。
 b. 眼鏡やコンタクトレンズがあれば充分に見分けられる。
 c. 眼鏡やコンタクトレンズがあっても充分に見分けられない。
 d. まったく見分けられない。

3. 現在、この方が、3人以上の人達との会話内容を聞きとる能力は、以下に述べるもののうちどれが一番当てはまりますか？ ひとつ選んで下さい。

前	中	後

- a. 補聴器なしでも会話内容を聞きとれる。
 b. 補聴器があれば会話内容を聞きとれる。
 c. 補聴器があっても会話内容を聞きとることができない。
 d. 会話内容を聞きとれない、しかし補聴器もつけていない。
 e. まったく聞こえない。

4. 現在、この方が、静かな部屋の中で相手の話す内容を聞きとる能力は、以下に述べるもののうちどれが一番当てはまりますか？ ひとつ選んで下さい。

前	中	後

- a. 補聴器なしでも会話内容を聞きとれる。
 b. 補聴器があれば会話内容を聞きとれる。
 c. 補聴器があっても会話内容を聞きとることができない。
 d. 会話内容を聞きとれない、しかし補聴器もつけていない。
 e. まったく聞こえない。

5. 現在、この方が、この方のことを知らない人と言葉を交わし、話した言葉を理解してもらう場合、以下に述べるもののうちどれが一番当てはまりますか？ ひとつ選んで下さい。

前	中	後

- a. 完全に言葉を理解してもらえる。
 b. 部分的には言葉を理解してもらえる。
 c. 言葉を理解してもらえない。
 d. まったく言葉をしゃべることができない。

6. 現在、この方が、この方のことをよく知っている人と言葉を交わし、自分の話した言葉を理解してもらった場合、以下に述べるもののうちどれが一番当てはまりますか？ ひとつ選んで下さい。

- a. 完全に言葉を理解してもらえる。
 b. 部分的には言葉を理解してもらえる。
 c. 言葉を理解してもらえない。
 d. まったく言葉をしゃべることができない。

前	中	後

7. 現在のこの方の感情は、以下に述べるもののうちどれが一番当てはまりますか？ ひとつ選んで下さい。

- a. 幸せで、生きているのが楽しい。
 b. いくらか幸せ。
 c. いくらか不幸。
 d. とても不幸。
 e. 不幸すぎて生きている意味を失っている。

前	中	後

8. 現在、この方の痛みや不快感の程度は、以下に述べるもののうちどれが一番当てはまりますか？
ひとつ選んで下さい。

- a. 痛みや不快感がまったくない。
 b. 軽度から中程度の痛みや不快感があるが、活動は妨げられない。
 c. 中程度の痛みや不快感があり、活動がわずかに妨げられる。
 d. 中程度から強度の痛みや不快感があり、活動がいくらか妨げられる。
 e. 激しい痛みや不快感があり、ほとんどの活動が妨げられる。

前	中	後

9. 現在のこの方の歩行能力は、以下に述べるもののうちどれが一番あてはまりますか？
ひとつ選んで下さい。

(注：歩行器具とは、添え木、杖、松葉杖、歩行器などの補助用具を指します。)

- a. 歩行器具なしに難なく近所を歩き回る事ができる。
 b. 近所を歩きまわるのは難かしいが、歩行器具や人の介助を必要とするほどではない。
 c. 歩行器具を必要とするが、他人の介助なしに近所を歩き回る事ができる。
 d. ほんの短い距離であれば歩行器具を使って歩く事ができ、かつ車椅子なら近所にでかけることができる。
 e. 歩行器具を用いても一人では歩けない。少し歩くのにもだれかの介助が必要で、近所にでかけるには車椅子が必要である。
 f. まったく歩けない。

前	中	後

10. 現在、この方の手や指を動かす能力は、以下に述べるもののうちどれが一番当てはまりますか？
ひとつ選んで下さい。

前	中	後

(注：特別な道具とは、手や指の不自由を補うための道具、例えば衣服のボタンを掛けやすく工夫した道具とか、特殊な形をしたスプーンやフォークなどの食器、小物をつかむ器具などを指します。)

- 両手と十本の指を完全に使いこなせる。
 - 手や指の不自由はあるが、特別な道具や人の介助を必要としない。
 - 手や指の不自由はあるが、特別な道具を使えばできる。(人の介助を要しない。)
 - 手や指の不自由があり、(特別な道具を用いても)人の介助を必要とすることがある。
 - 手や指の不自由があり、(特別な道具を用いても)ほとんどの場合、人の介助が必要である。
 - 手や指が不自由で、(特別な道具を用いても)何をするにも人の介助を必要とする。
11. 現在のこの方の記憶力は、以下に述べるもののうちどれが一番当てはまりますか？ひとつ選んで下さい。

前	中	後

- ほとんどの事を思い出す事ができる。
 - いくらか忘れっぽい。
 - とても忘れっぽい。
 - まったく何も思い出す事ができない。
12. 現在、この方が毎日の問題ごとを考えたり解決していく能力は、以下に述べるもののうちどれが一番当てはまりますか？ひとつ選んで下さい。

前	中	後

- 毎日の問題をはっきりと考え解決することができる。
 - 毎日の問題を考え解決するには、わずかに困難がある。
 - 毎日の問題を考え解決するには、多少困難がある。
 - 毎日の問題を考え解決するには、相当困難がある。
 - 毎日の問題を考え解決する能力がまったくない。
13. 現在、この方が身の回りのことをする能力は、以下に述べるもののうちどれが一番当てはまりますか？
ひとつ選んで下さい。

前	中	後

- 食事、入浴、着替え、トイレのすべてが問題なくできる。
- 困難はあるが食事、入浴、着替え、トイレのすべてが自分でできる。
- 食事、入浴、着替え、トイレのうちいずれかに補助器具を必要とするが自分でできる。
- 食事、入浴、着替え、トイレのいずれかに人の介助を必要とする。

14. 現在のこの方の感情は、以下に述べるものうちどれが一番当てはまりますか？ ひとつ選んで下さい。

前	中	後

- a. だいたい幸せで、取りたてて心配事がない。
- b. ときどきいらだったり、怒ったり、しゃくにさわったり、不安になったり落ち込んだりする。
- c. しばしばいらだったり、怒ったり、しゃくにさわったり、不安になったり落ち込んだりする。
- d. ほとんどいつもいらだったり、怒ったり、しゃくにさわったり、不安になったり落ち込んだりしている。
- e. 極度にいらだったり、怒ったり、しゃくにさわったり、不安になったり落ち込んだりして、カウンセリングを受けたり精神安定剤の助けが必要となるほどである。

15. 現在、この方の痛みや不快感の程度に関し、以下に述べるものうちどれが一番当てはまりますか？
ひとつ選んで下さい。

前	中	後

- a. 痛みや不快感がまったくない。
- b. ときどき痛みがある。不快感は市販薬または自己管理によってやわらげられ、ふだんの活動のじやまにはならない。
- c. しばしば痛みがある。不快感によりふだんの活動が妨げられることもあるが、飲み薬によってやわらげられる。
- d. しばしば痛みがある。普通の活動がしばしば妨げられ、やわらげるためには麻酔薬などの処方が必要とする。
- e. ひどい痛みがある。痛みはどんな治療でもやわらげられず、常に普通の活動が妨げられる。

16. 全体的にみてこの方の現在の健康状態はどのくらいに評価できますか？

前	中	後

- a. 秀でている。
- b. とてもよい。
- c. よい。
- d. あまりよくない。
- e. 非常に悪い。

<健康関連QOL: EuroQol (EQ-5D)>

以下のそれぞれの項目から、この方の今日の健康状態を最も良く表している記述を選んでください。

移動の程度

1. 歩き回るのに問題はない
2. 歩き回るのにいくらか問題がある
3. ベッド（床）に寝たきりである

前	中	後

身の回りの管理

1. 身の回りの管理に問題はない
2. 洗面や着替えを自分でするのにいくらか問題がある
3. 洗面や着替えを自分でできない

前	中	後

ふだんの活動（例：仕事、勉強、家事、家族・余暇活動）

1. ふだんの活動を行うのに問題はない
2. ふだんの活動を行うのにいくらか問題がある
3. ふだんの活動を行うことができない

前	中	後

痛み／不快感

1. 痛みや不快感はない
2. 中程度の痛みや不快感がある
3. ひどい痛みや不快感がある

前	中	後

不安／ふさぎ込み

1. 不安でもふさぎ込んでもいない
2. 中程度に不安あるいはふさぎ込んでいる
3. ひどく不安あるいはふさぎ込んでいる

前	中	後

EuroQol Instrument

<健康関連QOL: Dementia Quality of Life Instrument (DQol)>

面談者への使用説明： 質問を開始する前に適切な回答用紙を患者に見せること。最初の質問を行った後、その質問に対する回答の選択肢を読み上げる（同時に指し示す）こと。必要であれば次に続く質問群についても回答の選択肢を繰り返すこと。各質問についての回答（the item stem）を繰り返すこと。

回答1 注： 回答1に続いて、次を読み上げること。

何かわからないことがありますか？…ではこれからあなたについて質問します。

最近、あなたは次のことをどのぐらい楽しみましたか？

- 1 音楽を聴くこと
- 2 自然の音（鳥の声、風の音、雨の音）を聴くこと
- 3 動物や鳥を見ること
- 4 綺麗な色を見ること
- 5 雲、空、雨を見ること

前	中	後
前	中	後
前	中	後
前	中	後
前	中	後

回答2 注： 次を読み上げてください。

これはあなたがどのぐらい次に質問するような気持ちがあったかについての回答です。答えは、『全く感じなかった』から『ほとんど感じなかった』、『時々感じた』、『たびたび感じた』、『非常にたびたび感じた』までです（読み上げながら尺度の回答を指し示してください）。…何か質問はありますか？

最近、あなたは次のことをどのぐらい感じましたか？

- 6 自分は人の役に立つ
- 7 恥ずかしい思いをする
- 8 自分は人から愛される
- 9 自分に自信がある

前	中	後
前	中	後
前	中	後
前	中	後

(回答 2 のつづき)

- 1 0 自分に満足する
- 1 1 人から好かれる
- 1 2 何か重要なことをやり遂げた
- 1 3 最近、あなたはどのぐらい笑うことができましたか？

前	中	後
前	中	後
前	中	後
前	中	後

最近、あなたは次のことをどのぐらい感じましたか？

- 1 4 恐い
- 1 5 楽しい
- 1 6 さびしい
- 1 7 がっかりする
- 1 8 元気のよい
- 1 9 腹立たしい
- 2 0 心配する
- 2 1 満足する
- 2 2 気が重い
- 2 3 期待する
- 2 4 びくびくする
- 2 5 悲しい

前	中	後
前	中	後
前	中	後
前	中	後
前	中	後
前	中	後
前	中	後
前	中	後
前	中	後
前	中	後

(つづき)

26 いらいらする

27 はらはらする

28 どのぐらいほかの人と冗談を言ったり笑ったりしますか？

29 どのぐらい自分で決められますか？

前	中	後
前	中	後
前	中	後
前	中	後

総合的項目

回答 3

注：次を読んでください。

この回答は、あなたの生活について答えるものです。これは『悪い』から、『まあまあ良い』、『良い』、『とても良い』、『最高に良い』までです。

30 全体的にご自分の生活の質をどのように思いますか？

前	中	後

ありがとうございました。

<記憶と行動の問題のチェックリスト>

(Revised Memory and Behavior Problem Checklist : RMBPC)

以下は対象者がしばしば持っている問題のリストです。これらの問題が先週中に起きたかどうかについて判断してください。もし起きたのなら、それがあなたをどれくらい悩ませたか、気を動転させたについてその程度を答えてください。

反応の程度:

0=全然ない 1=少しある 2=まあまあある 3=やや多くある 4=非常に多くある

問題の項目	反応(どの程度でしたか?)		
	前	中	後
1. 何度も同じ質問をする			
2. 最近の出来事を思い出せない (例: 新聞やニュースの記事)			
3. 重要な過去のイベントを思い出せない			
4. 物を失くすか、どこかに置き忘れる			
5. その日がどんな日か忘れる			
6. 物事を 始めないか、終わらない問題			
7. 課題に集中することができない			
8. 大事なものを壊す			
9. あなたを当惑させることをする			
10. 夜にあなたか別の誰かを起こす			
11. 大きな声と早口で話す			
12. 不安や当惑しているように見える			
13. 自己または他人を危険な行動に巻き込む			
14. 怪我をする脅威			
15. 他人を傷つける脅威			
16. 他人に対し激しい口調になる			
17. 悲しんだり落ち込んだりしているように見える			
18. 将来への絶望や悲嘆の感情を示す			
19. 叫んだり、泣いたりする			
20. 自己や他人の死について話す			
21. 孤独な感情を話す			
22. 価値がないとか、他人の負担になっていると言う			
23. 失敗したことやどんな有益な業績も持っていないと言う			
24. 口論したり、短気になったり、苦情を言ったりする			

平成 20 年度 厚生労働科学研究補助金（長寿科学総合事業）
高齢者の生活機能低下に対する作業療法の効果に関する研究
報告書

平成 21 年 3 月

発行：主任研究者 能登真一
新潟医療福祉大学医療技術学部作業療法学科
〒950-3198 新潟市北区島見町 1398
TEL：025-257-4733
FAX：025-257-4733

本報告書の全部または一部を問わず、無断引用、転載を禁じます。